

平成 26 年度

京都府食育推進行動計画



きょうと食育ネットワーク
マスコット なす坊

平成 26 年 7 月

京 都 府

1 取組一覧

第2次京都府食育推進計画		平成26年度の取組事項	担当	
(1) 世代に応じた食育の推進	ア 子どもの食育支援	①農作物栽培や家畜の世話、調理等、農業や食に関する体験活動の充実		
		◆府施設を活用した様々な食育・環境体験教室の開催	自然環境保全課	
		◆子供を対象とした農業体験の開催	農村振興課	
		◆府関連施設を活用した農林漁業体験	農村振興課(丹後あじわいの郷)	
		◆きょうと食いく先生スキルアップ講座の開講と認定	食の安心・安全推進課	
		◆食農体験農場の開設推進	食の安心・安全推進課	
		◆京の食文化ミュージアム・あじわい館での食育体験教室の取組	食の安心・安全推進課	
		◆京野菜ランドを活用した京野菜等親子体験ツアーの実施	食の安心・安全推進課	
		◆調理実習等の充実	学校教育課、高校教育課	
		◆地域の人材を活用した体験学習等の実施	保健体育課	
		◆特産品を通じた食育活動	丹後広域振興局	
		◆農業者による食育活動支援	丹後広域振興局	
		②食に関する体験・学習できる施設等の情報提供		
		◆該当施設に関する情報の収集・提供	食の安心・安全推進課	
		◆食育に取り組む団体の食育支援活動の登録と情報提供	食の安心・安全推進課	
		③親子料理教室等の開催		
		◆食生活改善推進員による親子料理教室等の取組支援	各保健所、健康対策課	
		◆京の食文化ミュージアム・あじわい館での食育体験教室の取組 【再掲】	食の安心・安全推進課	
		◆食育講座の開催	食の安心・安全推進課	
		④地場産物の活用や郷土料理・行事食など地域の特色をいかした給食・調理実習の実施		
		◆特定給食施設等巡回指導・従事者講習会などによる地域の特色を活かした給食の提供を支援	各保健所、健康対策課	
		◆京の食文化ミュージアム・あじわい館での食育体験教室の取組 【再掲】	食の安心・安全推進課	
		◆地場産物を取り入れた学校給食の促進	保健体育課	
		◆教育実践パートナーシップ活動(地域特産品づくり)の実施	丹後広域振興局	
		◆ふるさと発見隊として食育活動の実施	丹後広域振興局	
		⑤食生活改善推進員や生活研究グループ、生産者等地域の食の専門家の協力を得た食育の取組		
		◆食生活改善推進員活動の支援(リーダー研修会の実施)	各保健所、健康対策課	
		◆食育に取り組む団体の食育支援活動の登録と情報提供 【再掲】	食の安心・安全推進課	
		◆食育講座の開催 【再掲】	食の安心・安全推進課	
		◆地域の食育仕掛人の配置	食の安心・安全推進課	
		◆京の食文化ミュージアム・あじわい館での食育体験教室の取組 【再掲】	食の安心・安全推進課	
		◆地域の人材を活用した体験学習等の実施 【再掲】	保健体育課	
		◆栽培から加工まで一貫した食育	南丹広域振興局(農林商工部)	
		⑥食に関する指導と給食の管理を行う栄養教諭の配置拡充、採用の維持		
		◆採用選考試験等の実施	教職員課	
		⑦食育に関する教職員の意識向上及び資質向上		
		◆特定給食施設等巡回指導・従事者講習会など	各保健所、健康対策課	
		◆教職員研修の充実	保健体育課	
		◆乙訓学校給食研究大会の開催	乙訓教育局	
		◆山城地方食育・学校給食研究協議会の開催	山城教育局	
		◆中丹地区食育・学校給食研究大会の開催	中丹教育局	
◆丹後食育・学校給食研修会の開催	丹後教育局			
⑧他校種(幼・保、小、中、高等)と連携した食育の推進				
◆特定給食施設等従事者講習会	各保健所、健康対策課			
◆校種間連携による食育の推進	保健体育課			
◆小学校、高校、大学が連携した「南丹パートナーズスクール事業(環境・食育)」の実施	南丹教育局			
◆学校給食における地元産食材の利用と食育の推進	中丹広域振興局(農林商工部)			
⑨あらゆる機会を通じた「食」に関する指導				
◆特定給食施設等巡回指導・従事者講習会など 【再掲】	各保健所、健康対策課			
◆出前講座への対応	各保健所、健康対策課			
◆「こどもたちのための食と環境講座」の実施	農政課			
◆学校での水産教室の開催	水産課			
◆学校給食を活用した食育の推進	保健体育課			
◆地域で生産される京野菜等について食育	南丹広域振興局(農林商工部)			
◆子ども向け食育指導媒体の作成と普及	丹後保健所			

京都府食育推進計画		平成26年度の取組事項	担当
(1) 世代に応じた食育の推進	イ 学生等若い世代の食育支援	①援農ボランティア活動等を通じた学生の農林漁業体験の推進	
		◆高校生・大学生による農業関連実践活動	農村振興課
		②生協等の学生食堂と連携した「朝ごはんを毎日食べる」運動等の展開、郷土料理・行事食提供の推進	
		◆食情報提供店への加入促進	各保健所、健康対策課
		◆料理教室の開催	食の安心・安全推進課
		③大学と連携した食育の推進	
		◆献血時における大学生等を対象にした栄養相談	薬務課
		◆料理教室の開催【再掲】	食の安心・安全推進課
		◆「京都米の良さ発見！」提案の募集	農産課
		④親子農林漁業体験の推進	
		◆食育講座の開催【再掲】	食の安心・安全推進課
		◆京野菜ランドを活用した京野菜等親子体験ツアーの実施【再掲】	食の安心・安全推進課
		◆特用林産物の栽培体験等	林務課
		⑤食に関する体験・学習ができる施設等の情報提供	
	◆該当施設に関する情報の収集・提供【再掲】	食の安心・安全推進課	
	⑥生産現場での意見交換等の生産者と消費者との交流の促進		
	◆意見交換・シンポジウムの開催	食の安心・安全推進課	
	◆食の安心・安全学び塾の開催	食の安心・安全推進課	
	◆食育講座の開催【再掲】	食の安心・安全推進課	
	⑦きょうと食育ネットワーク会員の連携による食育の推進		
	◆食育強化月間における関係団体と連携した啓発	食の安心・安全推進課	
	◆食育講座の開催【再掲】	食の安心・安全推進課	
	⑧職場での料理教室の推進		
	⑨健康診査結果を活用した生活習慣病予防の取組の推進		
	◆地域・職域連携推進会議	各保健所、健康対策課	
	ウ 中年の食育支援	①健康審査結果を活用した生活習慣病予防の取組の推進	
		◆地域・職域連携推進会議【再掲】	各保健所、健康対策課
◆働きざかり世代への食を通じた健康づくり		南丹保健所	
②企業食堂と連携した郷土料理・行事食提供の推進			
◆健康ばんざい京のおばんざい弁当シリーズの取組		健康対策課	
◆「たんとおあがり京都府産」施設(京都府産農産物利用推進施設)の認定		食の安心・安全推進課	
③職場での料理教室の推進			
④きょうと食育ネットワーク会員の連携による食育の推進			
◆食育強化月間における関係団体と連携した啓発【再掲】	食の安心・安全推進課		
◆食育講座の開催【再掲】	食の安心・安全推進課		
エ 高齢者の支援	①社会福祉団体、商店街、流通事業者等と連携した調理実習体験や買い物弱者支援		
	◆高齢者等への買い物支援	商業・経営支援課	
	②高齢者の生活を充実させるための活動支援		
	◆SKYふれあいフェスティバルにおける高齢者の栄養改善に係る普及啓発	高齢者支援課	
	◆地域・職域連携推進会議【再掲】	各保健所、健康対策課	
	◆南丹地域配食サービス資源リストの作成と配布	南丹保健所	
	③技能や技術を活用した農業や料理の体験の場等における活動支援		
	◆農山漁村伝承技能の登録・認定	流通・ブランド戦略課	
④きょうと食育ネットワーク会員の連携による食育の推進			
◆食育強化月間における関係団体と連携した啓発【再掲】	食の安心・安全推進課		
◆食育講座の開催【再掲】	食の安心・安全推進課		

京都府食育推進計画	平成26年度の取組事項	担当
(2) 家庭における食育の推進	①「朝ごはんを毎日食べる」運動等の展開	
	◆各種イベントでの啓発	各保健所、健康対策課
	◆食育強化月間における関係団体と連携した啓発 【再掲】	食の安心・安全推進課
	◆就学前の子どもを持つ保護者への支援	社会教育課
	②「食」の大切さや望ましい食習慣等についての啓発	
	◆出前講座への対応 【再掲】	各保健所、健康対策課
	◆各種イベントでの啓発	各保健所、健康対策課
	◆食のスクラップコンクール実施	食の安心・安全推進課
	◆きょうと食育講演会の開催	食の安心・安全推進課
	◆各種イベントでの啓発	食の安心・安全推進課
	◆家庭における食育推進をねらいとした啓発	乙訓保健所、乙訓教育局、京都乙訓農業改良普及センター
	◆健康づくりイベントでの食育啓発活動	山城北保健所
	◆家庭における食育推進をねらいとした啓発	山城南保健所
	◆幼児向け食育応援グッズの活用	山城広域振興局農林商工部
	◆直売所・飲食店・食環境部会構成団体による「なんたん・かんたん・やさい料理」レシビカード配付	南丹保健所
	◆「みんなでコラボin中丹」のはぐくみ教室の開催	中丹教育局
	◆食育講演会の開催	丹後保健所
	③栄養指導・相談対応の充実	
	◆保育所等への支援	各保健所、健康対策課
	④親子料理教室等、「食」を楽しみながら学ぶ機会の提供	
	◆食生活改善推進員による親子料理教室等の取組支援 【再掲】	各保健所、健康対策課
◆府関連施設を活用した農林漁業体験	農村振興課(丹後あじわいの郷)	
◆京の食文化ミュージアム・あじわい館での食育体験教室の取組 【再掲】	食の安心・安全推進課	
◆食育講座の開催 【再掲】	食の安心・安全推進課	
◆山城の「食」リレー講座の開催	山城広域振興局農林商工部	
⑤初めて父親、母親になる夫婦の子育てを意識した食育における保健・医療機関、NPO等の連携による取組		
⑥きょうと食育ネットワーク会員の連携による食育の推進		
◆食育強化月間における関係団体と連携した啓発 【再掲】	食の安心・安全推進課	
◆京の食文化ミュージアム・あじわい館での食育体験教室の取組 【再掲】	食の安心・安全推進課	
◆食育講座の開催 【再掲】	食の安心・安全推進課	
(3) 地域における食育の推進	①五感を活性化する食農体験の場づくりの推進	
	◆府施設を活用した様々な食育・環境体験教室の開催 【再掲】	自然環境保全課
	◆食農体験農場の開設推進 【再掲】	食の安心・安全推進課
	◆京野菜ランドを活用した京野菜等体験ツアーの実施	食の安心・安全推進課
	◆直売所等を巡るクイズラリーの実施	南丹広域振興局(農林商工部)
	◆農作業応援体験会の開催(おいしい食の応援隊)	南丹広域振興局(農林商工部)
	◆シイタケの原木栽培体験の実施	南丹広域振興局(農林商工部)
	②食育を推進する人材の育成	
	◆管内栄養士ネットワーク推進事業	各保健所、健康対策課
	◆食生活改善推進員活動の支援(リーダー研修会の実施) 【再掲】	各保健所、健康対策課
	◆特定給食施設等従事者講習会 【再掲】	各保健所、健康対策課
	◆きょうと食いく先生スキルアップ講座の開講と認定 【再掲】	食の安心・安全推進課
	◆地域の食育仕掛人の配置 【再掲】	食の安心・安全推進課
	③学校や福祉施設などの給食での地産地消の推進	
	◆特定給食施設等巡回指導・従事者講習会などによる地域の特色を活かした給食の提供を支援 【再掲】	各保健所、健康対策課
◆「たんとおあがり京都府産」施設(京都府産農産物利用推進施設)の認定 【再掲】	食の安心・安全推進課	
◆地場産物を取り入れた学校給食の促進 【再掲】	保健体育課	

京都府食育推進計画	平成26年度の取組事項	担当
(3) 地域における食育の推進	④食生活改善推進員や生活研究グループ等が行う郷土料理・行事食の料理教室等の活動の推進	
	◆食生活改善推進員による親子料理教室等の取組支援 【再掲】	各保健所、健康対策課
	◆食育講座の開催 【再掲】	食の安心・安全推進課
	◆食育に取り組む団体の食育支援活動の登録と情報提供 【再掲】	食の安心・安全推進課
	◆京の食文化ミュージアム・あじわい館での食育体験教室の取組 【再掲】	食の安心・安全推進課
	◆女性農業者による食育活動と農山漁村伝承技能保持者による技術伝承活動	流通・ブランド戦略課
	⑤きょうと食育ネットワーク会員の連携による食育の推進	
	◆食育強化月間における関係団体と連携した啓発 【再掲】	食の安心・安全推進課
	◆食育講座の開催 【再掲】	食の安心・安全推進課
	◆京の食文化ミュージアム・あじわい館での食育体験教室の取組 【再掲】	食の安心・安全推進課
	⑥生産者と消費者との生産現場での意見交換等交流の促進	
	◆意見交換・シンポジウムの開催 【再掲】	食の安心・安全推進課
	◆食の安心・安全学び塾の開催 【再掲】	食の安心・安全推進課
	◆環境にやさしい農業に取り組むエコファーマーと消費者の交流会の開催	農産課
	◆京都米提供店の登録	農産課
	◆都市漁村交流の促進	水産課
	◆意見交換会の開催	南丹地域食の安心・安全プロジェクトチーム(南丹広域振興局農林商工部、企画総務部、南丹保健所、南丹家畜保健衛生所、南丹教育局)
	◆消費者応援隊活動の実施(おいしい食の応援隊)	南丹広域振興局(農林商工部)
	⑦食の安心・安全についての関係機関と連携した情報提供	
	◆きょうと健康長寿推進府民会議	各保健所、健康対策課
	◆京都の伝統食品や加工技術を紹介する展示会等の開催	染織・工芸課
	◆意見交換・シンポジウムの開催 【再掲】	食の安心・安全推進課
	◆食の安心・安全学び塾の開催 【再掲】	食の安心・安全推進課
	◆京都府及び関係機関の「食」に関する情報の提供	食の安心・安全推進課
	◆食の生産現場における安全対策を学ぶフィールドワークの実施	南丹地域食の安心・安全プロジェクトチーム(南丹広域振興局農林商工部、企画総務部、南丹保健所、南丹家畜保健衛生所、南丹教育局)
	◆京都発！食とみどりのサイエンスNOW	農林水産技術センター企画室(流通・ブランド戦略課)
	◆「海まるごと体験」の実施	海洋センター(流通・ブランド戦略課)
	⑧社会福祉団体、商店街、流通事業者等と連携した調理実習体験や買い物弱者支援	
	◆高齢者等への買い物支援 【再掲】	商業・経営支援課
	⑨優良事例の紹介及び取組の拡大	
	◆食育シンポジウムの開催	食の安心・安全推進課
◆きょうと食育講演会の開催 【再掲】	食の安心・安全推進課	
◆「きょうと食育事例集」の作成	食の安心・安全推進課	
◆市町村食育推進計画の策定支援	食の安心・安全推進課	
◆食育プラットフォーム(仮称)の設置	食の安心・安全推進課	
◆地域の食育仕掛人の配置 【再掲】	食の安心・安全推進課	
◆食育のたね交付金の助成	食の安心・安全推進課	
◆管内市町が策定する食育推進計画の策定支援	乙訓保健所、乙訓教育局、京都乙訓農業改良普及センター	
◆山城の食育の取組情報を発信	山城広域振興局(農林商工部)	
◆管内市町の食育・地産地消の取組紹介パネルの作成・展示	南丹広域振興局(農林商工部)	

2 取組の展開

(1) 世代に応じた食育の推進

乳幼児期から高年期までそれぞれのライフステージにおいて、必要な「食」に関する能力を習得していくことで、生涯を通じて心身共に健康で豊かな生活を営むことができますが、望ましい食生活が実践できていません。

例えば、子どもは命と食の大切さを理解するための体験が不足していたり、学生等の若者は知識と技術が不足しているために食が貧しい状況にあったり、高齢者では新鮮な食料の入手が困難な状況、買い物弱者が発生するなど世代により課題に特徴があります。

ア 子どもの食育支援

① 農作物栽培や家畜の世話、調理等、農業や食に関する体験活動の充実

取組事項	取組の内容	担当
府施設を活用した様々な食育・環境体験教室の開催	<p>府立丹後海と星の見える丘公園において、指定管理者主催により、生ゴミを堆肥化して土づくりから農作物の栽培・収穫体験・火おこしからおくどさん（かまど）を使った調理体験、石窯を使ったパン焼き体験などさまざまな食育・環境体験教室を開催し、宿泊者等には地元産食材を使った食育を大切にした料理を提供します。</p> 	自然環境保全課
子供を対象とした農業体験の開催	<p>地域の高齢化が進み、農業への関心も希薄になる中、将来を担う子供達の参加による植え付け体験や収穫体験を通じて、農業に対する関心を深めるためのイベントを地域団体が主体となって開催します。 目標値：農業体験イベント 10地区</p>	農村振興課
府関連施設を活用した農林漁業体験	<p>サツマイモづくりやブルーベリー、イチゴなどの収穫体験活動を推進します。 目標値：参加者 800名</p>	農村振興課 (丹後あじわいの郷)
きょうと食いく先生スキルアップ講座の開講と認定	<p>学校等において、専門的な知識を有し農作業や調理を指導できる人材を育成するため、養成講座を開講し、きょうと食いく先生の認定を行います。 目標：スキルアップ講座開催 1回 きょうと食いく先生の認定 100名以上</p>	食の安心・安全推進課
食農体験農場の開設推進	<p>子どもたちが五感を使って、種まき・苗植え、草引き、施肥、収穫、調理など一連の農作業体験と食に関する学習ができる農場の開設を支援します。 目標：きょうと食農体験農場の登録 20ヶ所</p>	食の安心・安全推進課

(1) 世代に応じた食育の推進

取組事項	取組の内容	担当
京の食文化ミュージアム・あじわい館での食育体験教室の取組	京都市と連携して運営する施設「京の食文化ミュージアム・あじわい館」において、京都ならではの食材、行事等にまつわる食文化、健康を意識した体験型の食育教室等を開催します。	食の安心・安全推進課
京野菜ランドを活用した京野菜等親子体験ツアーの実施	小学生とその保護者等を対象に府内農林水産物を学べ・食べ・買えるツアーを実施し、府内農林水産物への理解促進を図ります。 京野菜等親子体験ツアーの実施 2回	食の安心・安全推進課
調理実習等の充実	基礎的・基本的な知識と技能を身に付け、日常生活で活用できるようにします。食文化を継承しつつ、健康と安全・衛生に配慮して調理を工夫し、食事を作る楽しさや食べる喜びを味わうことができるようにします。	学校教育課 高校教育課
地域の人材を活用した体験学習等の実施	「食に関する指導充実事業」等において、他校種の学校や関係機関と連携を図り、地域の食の専門家の協力を得た調理実習や地元の食に関する体験学習等を取り入れながら食育を推進します。	保健体育課
特産品を通じた食育活動	小学生やその保護者等に、丹後管内の特産物を理解する機会を提供するため、歴史や栽培方法の説明、調理実習、試食などを行います。	丹後広域振興局
農業者による食育活動支援	小学生や都会の消費者を対象に地元の農業者が実施する農作業体験、郷土料理体験活動を支援します。	丹後広域振興局

② 食に関する体験・学習できる施設等の情報提供

取組事項	取組の内容	担当
該当施設に関する情報の収集・提供	該当施設についての情報をホームページを通じて情報提供します。	食の安心・安全推進課
食育に取り組む団体の食育支援活動の登録と情報提供	「きょうと食育ネットワーク」を通じて、府内で行われている食育支援の活動を登録し、ホームページ等で情報提供することで、食育に取り組むにあたって必要な情報を容易に取得できるようにします。 【食育支援の取組】 ○ボランティア活動 ○企業・工房等の見学 ○講師の派遣 ○教材等の提供 ○農林漁業体験プログラム 等	食の安心・安全推進課

③ 親子料理教室等の開催

取組事項	取組の内容	担当
食生活改善推進員による親子料理教室等の取組支援	食生活を通じた健康づくりのボランティア団体である食生活改善推進員が、各地域でおやこ食育教室等に取り組むにあたり、取組の支援や技術向上のためのリーダー研修会を実施します。	各保健所 健康対策課
京の食文化ミュージアム・あじわい館での食育体験教室の取組 再掲(1)ア①	京都市と連携して運営する施設「京の食文化ミュージアム・あじわい館」において、京都ならではの食材、行事等にまつわる食文化、健康を意識した体験型の食育教室等を開催します。	食の安心・安全推進課
食育講座の開催	「きょうと食育ネットワーク」による料理教室等の食育講座の開催を支援します。	食の安心・安全推進課

④ 地場産物の活用や郷土料理・行事食など地域の特色をいかした給食・調理実習の実施

取組事項	取組の内容	担当
特定給食施設等巡回指導・従事者講習会などによる地域の特色を活かした給食の提供を支援	給食を実施している施設で、地域の特色や工夫を活かした給食の提供ができるよう、保健所による給食施設巡回指導時の個別相談により支援します。 ＜特定給食施設＞ 健康増進法第20条では、特定かつ多数の者に対して継続的に1回100食以上または1日250食以上の食事を提供する施設。 ただし、府ではそれ以下の食数の施設に対しても指導対象施設としている。	各保健所 健康対策課
京の食文化ミュージアム・あじわい館での食育体験教室の取組 再掲(1)ア①	京都市と連携して運営する施設「京の食文化ミュージアム・あじわい館」において、京都ならではの食材、行事等にまつわる食文化、健康を意識した体験型の食育教室等を開催します。	食の安心・安全推進課
地場産物を取り入れた学校給食の促進	学校給食への地場産物の活用とともに、郷土食、行事食などを取り入れることにより、地元産物や食文化への理解を深め、郷土への関心を高めます。	保健体育課
教育実践パートナーシップ活動(地域特産品づくり)の実施	地域と大学や高校が連携し、地域特産品の学習を通じた試作品開発を教育実践パートナーシップ活動として実施します。	丹後広域振興局
ふるさと発見隊として食育活動の実施	小学校と連携し、家庭科の授業で地域食材や地域の伝統的な料理の講習を実施します。	丹後広域振興局

⑤ 食生活改善推進員や生活研究グループ、生産者等地域の食の専門家の協力を得た食育の取組

取組事項	取組の内容	担当
食生活改善推進員活動の支援（リーダー研修会の実施）	保健所は、食生活改善推進員のリーダー層に研修会を行い、食育に関する最新知識や事例共有などの機会を提供し、効果的な活動が展開されるよう支援します。	各保健所 健康対策課
食育に取り組む団体の食育支援活動の登録と情報提供 再掲(1)ア②	「きょうと食育ネットワーク」を通じて、府内で行われている食育支援の活動を登録し、ホームページ等で情報提供することで、食育に取り組むにあたって必要な情報を容易に取得できるようにします。 【食育支援の取組】 ○ボランティア活動 ○企業・工房等の見学 ○講師の派遣 ○教材等の提供 ○農林漁業体験プログラム 等	食の安心・安全推進課
食育講座の開催 再掲(1)ア③	「きょうと食育ネットワーク」による料理教室等の食育講座の開催を支援します。	食の安心・安全推進課
京の食文化ミュージアム・あじわい館での食育体験教室の取組 再掲(1)ア①	京都市と連携して運営する施設「京の食文化ミュージアム・あじわい館」において、京都ならではの食材、行事等にまつわる食文化、健康を意識した体験型の食育教室等を開催します。	食の安心・安全推進課
地域の食育仕掛人の配置	地域での食育の取組や食育実践者の輪を広げようと取り組む人材を「地域の食育仕掛人」に認定。新たに食育に取り組もうという個人や団体をサポートするとともに、実践者同士の輪をつなげ、府内各地域の食育の取組を盛り上げます。 目標：地域の食育仕掛人認定数 20名	食の安心・安全推進課
地域の人材を活用した体験学習等の実施 再掲(1)ア①	「食に関する指導充実事業」等において、地域の他校種の学校や関係機関と連携を図り、地域の食の専門家の協力を得た調理実習や地元の食に関する体験学習等を取り入れながら食育を推進します。	保健体育課
栽培から加工まで一貫した食育	農産加工グループの協力を得て、地元の小学生に大豆栽培から味噌作りまでを一貫して指導し、農業生産や食の大切さを伝えます。	南丹広域振興局（農林商工部）

⑥ 食に関する指導と給食の管理を行う栄養教諭の配置拡充、採用の維持

取組事項	取組の内容	担当
採用選考試験等の実施	専門性を有する栄養教諭の新規採用枠を引き続き設けます。	教職員課

⑦ 食育に関する教職員の意識向上及び資質向上

取組事項	取組の内容	担当
特定給食施設等巡回指導・従事者講習会など	保健所が実施する特定給食施設等巡回指導や従事者講習会の開催などにより、献立や食育に関する知識普及・情報提供等を行い、給食施設従事者の意識の向上を図ります。	各保健所 健康対策課
教職員研修の充実	初任者・新規採用者への研修を実施するとともに、教育局別研修会等を開催することによって、学校における食育を推進するための教職員の意識向上及び資質向上を図ります。	保健体育課
乙訓学校給食研究大会の開催	乙訓管内の学校給食実施校及び各市町教育委員会の学校給食関係者を対象として、乙訓学校給食研究会と連携し、学校給食における管理運営・栄養管理や調理・食に関する指導についての諸問題を研究協議し学校給食の安全性の確保を図るとともに、健康教育の一環としての学校給食のより一層の充実と食育の推進を図るため、研修会を開催します。 ○7月31日(木) 大山崎町立中央公民館	乙訓教育局
山城地方食育・学校給食研究協議会の開催	山城管内の学校、学校給食共同調理場及び市町(広域連合)教育委員会の教職員・調理員等学校給食関係者が食に関する指導についての理解を深め、学校教育活動全体を通じた食育の推進を図るとともに、学校給食の管理及び運営並びに食に関する指導について研究協議し、学校給食の安全性の確保と健康教育に関する指導のより一層の充実を図ります。 ○平成26年7月24日開催予定	山城教育局
中丹地区食育・学校給食研究大会の開催	中丹管内の学校、学校給食共同調理場及び各市教育委員会の担当者が食育並びに給食の管理、運営及び指導について研究や協議をするとともに、食に関する指導、学校給食の安全性及び食中毒予防の一層の充実を図ります。 ○8月5日(火) 舞鶴市総合文化会館 目標値：26年度 計1回	中丹教育局
丹後食育・学校給食研修会の開催	丹後管内の学校・学校給食センター・市町(組合)教育委員会の教職員・調理従事員・関係職員を受講対象者とし、管内における取組報告や研究協議を行うことにより、食に関する指導についての理解を深め、食に関する指導計画に基づいた学校教育活動全体を通じた食育の推進を図る。 ○8月頃実施予定	丹後教育局

⑧ 他校種（幼・保、小、中、高等）と連携した食育の推進

取組事項	取組の内容	担当
特定給食施設等従事者講習会	特定給食施設等従事者講習会の場を活用し、情報提供や施設間の交流の場を提供することで、連携した食育を推進します。	各保健所 健康対策課
校種間連携による食育の推進	「食に関する指導充実事業」等において、地域の他校種の学校や関係機関と連携を図り、地域の食の専門家の協力を得た調理実習や地元の食に関する体験学習等を取り入れながら食育を推進します。	保健体育課
小学校、高校、大学が連携した「南丹パートナーズ事業（環境・食育）」の実施	京丹波町立小学校、須知高校及び京都大学大学院の校種の異なる3者が円滑に連携できるようコーディネートし、大学が持つ知的資源と高校（食品科学科）が持つ農業教育の施設やノウハウ等、「食」を中心とする教育資源を生かした食育を小学生に普及します。また、事業成果を広報することによって、京都丹波地域全体の食育推進へと繋がります。	南丹教育局
学校給食における地元産食材の利用と食育の推進	学校給食への地元産食材の積極的な利用を働きかけるとともに、地域の農業・地域の農産物を通じて郷土を愛する心を育むため、小学校での食育授業を実施します。	中丹広域振興局（農林商工部）

⑨ あらゆる機会を通じた「食」に関する指導

取組事項	取組の内容	担当
特定給食施設等巡回指導・従事者講習会など 再掲(1)ア⑦	保健所が実施する特定給食施設等巡回指導や従事者講習会の開催などにより、献立や食育に関する知識普及・情報提供等を行い、給食施設従事者の意識の向上を図ります。	各保健所 健康対策課
出前講座への対応	望ましい食習慣について啓発を図るため、保健所などからの出前講座を実施します。	各保健所 健康対策課
「こどもたちのための食と環境講座」の実施	地域の農林水産業やその環境が果たす役割についての理解促進を図るため、小・中学校などからの要請に基づいた出前講座を実施します。	農政課
学校での水産教室の開催	子どもたちの水産物に対する興味を喚起し、理解を深めるため、京都府の職員が各種学校へ出向き、講義を行います。	水産課
学校給食を活用した食育の推進	学校給食を生きた教材として活用し、給食の時間や関連教科等での指導を通じて、子どもたちに食への関心を持たせ、栄養バランスのとれた食事をとる自己管理能力を身に付けさせます。	保健体育課
地域で生産される京野菜等について食育	地元特産物の栽培や調理方法を講義します。	南丹広域振興局（農林商工部）
子ども向け食育指導媒体の作成と普及	保育所、家庭等で楽しく取り組める食育指導媒体を作成し、インターネット、特定給食施設等巡回指導等を通して普及します。	丹後保健所

イ 学生等若い世代の食育支援

① 援農ボランティア活動等を通じた学生の農林漁業体験の推進

取組事項	取組の内容	担当
高校生・大学生による農業関連実践活動	人手が不足している農山漁村が、専門分野の知識・技術を一層深めたい農業関係等専門科を有する高校・大学等と連携し、農業用施設の保安全管理、新たな特産品の開発など「食」に係る実践活動に取り組みます。 目標値：参加学校数 8校	農村振興課

② 生協等の学生食堂と連携した「朝ごはんを毎日食べる」運動等の展開、郷土料理・行事食提供の推進

取組事項	取組の内容	担当
食情報提供店への加入促進	事業所や大学の食堂等で栄養成分表示やヘルシーメニューを提供されるよう保健所は事業主に働きかけ、栄養のアドバイスや健康づくり情報の提供等の支援を行います。 また、加入事業所を、府のホームページ等で広報します。	各保健所 健康対策課
料理教室の開催	学生食堂等と連携し、大学生を対象とした料理教室を開催します。	食の安心・安全推進課

③ 大学と連携した食育の推進

取組事項	取組の内容	担当
献血時における大学生等を対象にした栄養相談	大学での献血等の機会を利用した栄養相談・食生活指導を(公社)京都府栄養士会の協力を得て実施します。 目標値：平成26年度 計20回	薬務課
料理教室の開催 再掲(1)イ②	学生食堂等と連携し、大学生を対象とした料理教室を開催します。	食の安心・安全推進課
「京都米の良さ発見！」提案の募集	(一社)京都府米食推進協会が、管理栄養士、栄養士をめざしている京都の大学、短大、専門学校で学ぶ学生を対象に京都米全般に関する事業提案及び米をはじめとする地域の特産物の特徴や食文化に関する調査研究を通じて、学生に京都米の良さを再発見してもらうとともに、その提案を活用して府民に対して京都米や地域の特産物の知識を広げる活動を行います。	農産課

④ 親子農林漁業体験の推進

取組事項	取組の内容	担当
食育講座の開催 再掲(1)ア③	「きょうと食育ネットワーク」による料理教室等の食育講座の開催を支援します。	食の安心・安全推進課

(1) 世代に応じた食育の推進

取組事項	取組の内容	担当
京野菜ランドを活用した京野菜等親子体験ツアーの実施 再掲(1)ア①	小学生とその保護者等を対象に府内農林水産物を学べ・食べ・買えるツアーを実施し、府内農林水産物への理解促進を図ります。 京野菜等親子体験ツアーの実施 2回	食の安心・安全推進課
特用林産物の栽培体験等	きのこ栽培の体験を通じ、森林の恵みである特用林産物を食することへの関心を高める。 目標値：きのこ栽培等体験教室 2回	林務課

⑤ 食に関する体験・学習ができる施設等の情報提供

取組事項	取組の内容	担当
該当施設に関する情報の収集・提供 再掲(1)ア②	該当施設についての情報をホームページを通じて情報提供します。	食の安心・安全推進課

⑥ 生産現場での意見交換等の生産者と消費者との交流の促進

取組事項	取組の内容	担当
意見交換・シンポジウムの開催	食の安全に関する施策や取組について、消費者及び生産者等と各広域振興局ごとに意見交換を行うとともに、消費者及び生産事業者等と協働して食の安心・安全シンポジウムを開催し、食品の安全性に関する知識を啓発します。	食の安心・安全推進課
食の安心・安全学び塾の開催	府の食の安心・安全の取り組みについて、農林水産技術センター等の施設で体験し、意見交換することにより、府民の食の安心感向上につなげます。	食の安心・安全推進課
食育講座の開催 再掲(1)ア③	「きょうと食育ネットワーク」による料理教室等の食育講座の開催を支援します。	食の安心・安全推進課

⑦ きょうと食育ネットワーク会員の連携による食育の推進

取組事項	取組の内容	担当
食育強化月間における関係団体と連携した啓発	「きょうと食育ネットワーク」が「朝ごはんを食べよう」を統一テーマとして定めている「きょうと食育強化月間(11月)」において、府内各団体と連携した啓発活動を行います。	食の安心・安全推進課
食育講座の開催 再掲(1)ア③	「きょうと食育ネットワーク」による料理教室等の食育講座の開催を支援します。	食の安心・安全推進課

⑧ 職場での料理教室の推進

⑨ 健康診査結果を活用した生活習慣病予防の取組の推進

取組事項	取組の内容	担当
地域・職域連携推進会議	保健所における地域・職域連携推進会議を通じて、事業所等が行う各種保健指導等に役立つ食生活改善の情報提供を行います。 ＜地域・職域連携推進会議＞ 地域保健と職域保健の間の健康情報の共有や保健事業の実施に要する社会資源の相互活用などを通じて、地域・職域の連携体制を構築し、生涯を通じた継続的な健康支援を図るための会議	各保健所 健康対策課

ウ 中年の食育支援

① 健康診査結果を活用した生活習慣病予防の取組の推進

取組事項	取組の内容	担当
地域・職域連携推進会議 再掲(1)イ⑨	保健所における地域・職域連携推進会議を通じて、事業所等が行う各種保健指導等に役立つ食生活改善の情報提供を行います。 ＜地域・職域連携推進会議＞ 地域保健と職域保健の間の健康情報の共有や保健事業の実施に要する社会資源の相互活用などを通じて、地域・職域の連携体制を構築し、生涯を通じた継続的な健康支援を図るための会議	各保健所 健康対策課
働きざかり世代への食を通じた健康づくり	多忙なため生活習慣の多くに課題を抱える働きざかり世代が健診受診や保健行動に結びつけられるよう、管内事業者へ向けた食育事業を実施します。 目標：年3回以上	南丹保健所

② 企業食堂と連携した郷土料理・行事食提供の推進

取組事項	取組の内容	担当
健康ばんざい京のおばんざい弁当シリーズの取組	「健康ばんざい京のおばんざい弁当シリーズ」の取組を弁当製造業者等に働きかけ、京のおばんざい弁当の普及を図ります。 また、京のおばんざい弁当普及推進協議会が、ホームページや各種イベント等の様々な機会を通じて、積極的に広報・普及を行います。	健康対策課
「たんとおあがり京都府産」施設（京都府産農産物利用推進施設）の認定	地元農産物の利用に意欲的な病院・福祉施設、社員食堂、大学食堂を対象に認定章の交付を行い、意欲の向上を図ります。	食の安心・安全推進課

③ 職場での料理教室の推進

④ きょうと食育ネットワーク会員の連携による食育の推進

取組事項	取組の内容	担当
食育強化月間における関係団体と連携した啓発 再掲(1)イ⑦	「きょうと食育ネットワーク」が「朝ごはんを食べよう」を統一テーマとして定めている「きょうと食育強化月間(11月)」において、府内各団体と連携した啓発活動を行います。	食の安心・安全推進課
食育講座の開催 再掲(1)ア③	「きょうと食育ネットワーク」による料理教室等の食育講座の開催を支援します。	食の安心・安全推進課

エ 高齢者の支援

① 社会福祉団体、商店街、流通事業者等と連携した調理実習体験や買い物弱者支援

取組事項	取組の内容	担当
高齢者等への買い物支援	商店街団体等が地域コミュニティの核となるような特色づくりに取り組む事業を支援する中で、地域の生活支援商店街など、高齢者等の買い物弱者の買い物の利便を高め、生活の質の向上を図るとともに商店街の振興につながる事業を支援します。	商業・経営支援課

② 高齢者の生活を充実させるための活動支援

取組事項	取組の内容	担当
SKYふれあいフェスティバルにおける高齢者の栄養改善に係る普及啓発	高齢者の健康づくり・介護予防について、広く一般府民に理解を深めてもらうため、(公社)京都府栄養士会に委託して栄養改善の普及啓発を実施する。	高齢者支援課
地域・職域連携推進会議 再掲(1)イ⑨	保健所における地域・職域連携推進会議を通じて、事業所等が行う各種保健指導等に役立つ食生活改善の情報提供を行います。 〈地域・職域連携推進会議〉 地域保健と職域保健の間の健康情報の共有や保健事業の実施に要する社会資源の相互活用などを通じて、地域・職域の連携体制を構築し、生涯を通じた継続的な健康支援を図るための会議	各保健所 健康対策課
南丹地域配食サービス資源リストの作成と配布	家庭での調理が困難となった高齢者世帯や療養食が必要となった人が、自宅で利用できる配食事業者とサービス内容を一覧にしたリストを作成し、管内医療機関・福祉機関・府民に配布します。 目標：掲載事業者15社以上 配布箇所30カ所以上	南丹保健所

③ 技能や技術を活用した農業や料理の体験の場等における活動支援

取組事項	取組の内容	担当
農山漁村伝承技能の登録・認定	農山漁村地域において長年にわたり培われ、行われていた伝統的又は優れた生産・生活に係る技能を保持し、農林水産業や地域振興に意欲を持って技能の伝承活動ができる65歳以上の府内在住者を登録している。その中で、極めて優れた技能の保持者については、京都府の「農の匠」、「山の匠」、「海の匠」として認定し、京都府ホームページで、お名前と技能について紹介します。	流通・ブランド戦略課

④ きょうと食育ネットワーク会員の連携による食育の推進

取組事項	取組の内容	担当
食育強化月間における関係団体と連携した啓発 再掲(1)イ⑦	「きょうと食育ネットワーク」が「朝ごはんを食べよう」を統一テーマとして定めている「きょうと食育強化月間(11月)」において、府内各団体と連携した啓発活動を行います。	食の安心・安全推進課
食育講座の開催 再掲(1)ア③	「きょうと食育ネットワーク」による料理教室等の食育講座の開催を支援します。	食の安心・安全推進課

(2) 家庭における食育の推進

家庭は、食育を推進する上で最も大切な場であり、食育の原点です。

食の外部化が進んでいる現代にあっても、人が初めて食に触れる場である家庭では、基本的な生活習慣を身に付けたり、望ましい食習慣や知識を習得したり、食文化を伝承したりする上で非常に大きな役割があり、また食を介したコミュニケーションを通じて親子の絆を深めることができます。

しかし、朝食欠食が大きな問題となっているほか、食生活も原因の一つと考えられる生活習慣病の増加や食品ロスの発生などの課題があります。

① 「朝ごはんを毎日食べる」運動等の展開

取組事項	取組の内容	担当
各種イベントでの啓発	朝食を食べない幼児ゼロを目指し、食生活改善推進等と連携し、各種イベント等において食育キャンペーンを実施します。	各保健所 健康対策課
食育強化月間における関係団体と連携した啓発 再掲(1)イ⑦	「きょうと食育ネットワーク」が「朝ごはんを食べよう」を統一テーマとして定めている「きょうと食育強化月間(11月)」において、府内各団体と連携した啓発活動を行います。	食の安心・安全推進課
就学前の子どもを持つ保護者への支援	「早寝・早起き・朝ごはん」等規則正しい生活習慣や学習習慣がしっかり身につくよう、「早ね早おき朝ごはん」のリーフレットを就学前の子どもを持つ保護者を対象に配布し啓発に努め、家庭の教育力の向上を目指します。	社会教育課

② 「食」の大切さや望ましい食習慣等についての啓発

取組事項	取組の内容	担当
出前講座への対応 再掲(1)ア⑨	望ましい食習慣について啓発を図るため、保健所などからの出前講座を実施します。	各保健所 健康対策課
各種イベントでの啓発	各種関係団体と連携し、各種イベントにおいて、府民へ正しい食習慣についての普及・啓発を行います。	各保健所 健康対策課
食のスクラップコンクール実施	「食」に関する新聞記事や資料のスクラップ制作を通じ、「食」への関心と理解を深めることを目的として、小中学生を対象にコンクールを開催します。	食の安心・安全推進課
きょうと食育講演会の開催	府内外から講師を招き、食育講演会を開催し、府内の食育実践者や府民に先進的な食育の取組についての知識や理解を広め、府内の新たな食育の取組の実践を促します。	食の安心・安全推進課
各種イベントでの啓発	「きょうと食育ネットワーク」と連携しながら、食に関わるイベント等に効果的な出展を行い、府民が食育を考え、体験出来る機会とします。 ○食育取組事例等の展示・配布 ○体験型ブース出展(食生活の見直しや、食に関わるマナー等の体験機会とします。) ○アンケート実施(府民の食育に対する意識を把握します。)	食の安心・安全推進課

取組事項	取組の内容	担当
家庭における食育推進をねらいとした啓発	府民が「食」の大切さや望ましい食習慣等について考え、体験できる機会を設け啓発に努めます。 (3年計画の2年目) 目標値：1回開催	乙訓保健所 乙訓教育局 京都乙訓農業改良普及センター
健康づくりイベントでの食育啓発活動	管内各市町と連携した健康づくりイベントにおいて、望ましい食生活に関する情報提供や体験等の機会を設け、食育の啓発に努めます。	山城北保健所
家庭における食育推進をねらいとした啓発	「朝ごはんを食べよう」「和食おいしさをとろう」「地産地消と地元産 旬の野菜の紹介」等について、各種イベントで食育の啓発を行います。	山城南保健所
幼児向け食育応援グッズの活用	幼児向け食育応援グッズの貸出や食育に関するイベント等でグッズを用いて、山城地域の野菜等を知ってもらい地産地消の推進を図ります。	山城広域振興局農林商工部
直売所・飲食店・食環境部会構成団体による 「なんたん・かんたん・やさしい料理」レシピカード配布	京都丹波地域府民会議食環境部会で25年度に募集・編集したレシピ集から、地産地消と旬の野菜による健康づくりを目的としてレシピカードを作成し、農作物直売所・一般飲食店・食環境部会構成団体を通じて府民に広く配布します。 目標：年4回 配布枚数：28,000枚	南丹保健所
「みんなでコラボ in 中丹」におけるはぐくみ教室の開催	中丹管内のPTA役員や各学校のPTA担当者等を対象に、社会総がかりで子どもたちを豊かにはぐくむ環境づくりについて、地域も親も教師もともに学び、広め合う機会として、「みんなでコラボ in 中丹」を開催します。 食育をテーマとしたはぐくみ教室で、府立学校料理部と連携を図り、「食」の大切さや望ましい食習慣について学びます。 〇6月28日(土) 舞鶴市中総合会館 目標値：26年度 計1回	中丹教育局
食育講演会の開催	<ul style="list-style-type: none"> 食育の推進については、地域関係者や食生活改善推進員、府民会議参画団体や市町等行政、府民等の広範な参加者を得て平成16年度から継続して取り組んでいます。 平成26年度は、各関係機関と協力して食育講演会を開催し、様々な団体や関係機関と丹後の食育課題を共有します。食育講演会の内容は、体験コーナーや参加団体の展示等体験を通して食育をすすめる手法について交流します。 	丹後保健所

③ 栄養指導・相談対応の充実

取組事項	取組の内容	担当
保育所等への支援	保健所が行う巡回指導等を通じて、保育所に対し、栄養指導上の課題解決に向けた相談に応じます。	各保健所 健康対策課

(2) 家庭における食育の推進

④ 親子料理教室等、「食」を楽しみながら学ぶ機会の提供

取組事項	取組の内容	担当
食生活改善推進員による親子料理教室等の取組支援 再掲(1)ア③	食生活を通じた健康づくりのボランティア団体である食生活改善推進員が、各地域でおやこ食育教室等に取り組むにあたり、取組の支援や技術向上のためのリーダー研修会を実施します。	各保健所 健康対策課
府関連施設を活用した農林漁業体験	パンやケーキづくりを通じて、「食」を楽しみながら学ぶ機会を提供します。 目標値：参加者 6,500名	農村振興課 (丹後あじわいの郷)
京の食文化ミュージアム・あじわい館での食育体験教室の取組 再掲(1)ア①	京都市と連携して運営する施設「京の食文化ミュージアム・あじわい館」において、京都ならではの食材、行事等にまつわる食文化、健康を意識した体験型の食育教室等を開催します。	食の安心・安全推進課
食育講座の開催 再掲(1)ア③	「きょうと食育ネットワーク」による料理教室等の食育講座の開催を支援します。	食の安心・安全推進課
山城の「食」リレー講座の開催	やましろ直売所ネットワークが実施する山城の「食」や「農」を学ぶ体験型リレー講座の開催を支援します。	山城広域振興局農林商工部

⑤ 初めて父親、母親になる夫婦の子育てを意識した食育における保健・医療機関、NPO等の連携による取組

⑥ きょうと食育ネットワーク会員の連携による食育の推進

取組事項	取組の内容	担当
食育強化月間における関係団体と連携した啓発 再掲(1)イ⑦	「きょうと食育ネットワーク」が「朝ごはんを食べよう」を統一テーマとして定めている「きょうと食育強化月間(11月)」において、府内各団体と連携した啓発活動を行います。	食の安心・安全推進課
京の食文化ミュージアム・あじわい館での食育体験教室の取組 再掲(1)ア①	京都市と連携して運営する施設「京の食文化ミュージアム・あじわい館」において、京都ならではの食材、行事等にまつわる食文化、健康を意識した体験型の食育教室等を開催します。	食の安心・安全推進課
食育講座の開催 再掲(1)ア③	「きょうと食育ネットワーク」による料理教室等の食育講座の開催を支援します。	食の安心・安全推進課


(3) 地域における食育の推進

住民に身近な市町村・地域での食育の推進のためには、様々な団体や関係者が協働して取り組む必要がありますが、関係者の連携のための市町村食育推進計画の策定が進んでいません。

また、伝統行事や郷土料理、行事食をはじめとする食文化を次の世代に伝承したり、食農体験農場等体験の場づくりなどについても、地域には食育において重要な役割があります。

なお、平成26年度から、府内各地域に食育活動を主体的に進める「地域の食育仕掛人」を配置するとともに、仕掛人が伴走支援を行う食育関係団体の取組に対して、「食育のたね交付金」を助成します。

① 五感を活性化させる食農体験の場づくりの推進

取組事項	取組の内容	担当
府施設を活用した様々な食育・環境体験教室の開催 再掲(1)ア①	府立丹後海と星の見える丘公園において、指定管理者主催により、生ゴミを堆肥化して土づくりから農作物の栽培・収穫体験・火おこしからおくどさん(かまど)を使った調理体験、石窯を使ったパン焼き体験などさまざまな食育・環境体験教室を開催し、宿泊者等には地元産食材を使った食育を大切に料理を提供します。	自然環境保全課
食農体験農場の開設推進 再掲(1)ア①	子どもたちが五感を使って、種まき・苗植え、草引き、施肥、収穫、調理など一連の農作業等を1年を通じて体験できる農場の開設を支援します。 目標：農場開設数 20箇所	食の安心・安全推進課
京野菜ランドを活用した京野菜等体験ツアーの実施	京野菜等が学べ・食べ・買える施設京野菜ランドを活用した食農体験ツアーを実施し、広く府民を対象とし、府内農産物への理解促進を図ります。 京野菜等体験ツアーの実施 5回以上	食の安心・安全推進課
直売所等を巡るクイズラリーの実施	夏から秋にかけて実施する近隣他府県の方を対象としたクイズラリー期間中に、直売所等で参加型のイベントを実施し、地元産農林畜産物への理解を深めてもらうとともに、地域への再訪につなげるきっかけとします。	南丹広域振興局(農林商工部)
農作業応援体験会の開催(おいしい食の応援隊)	農作業応援体験会を通じて、継続して農作業を手伝い、農家と顔の見えるお付き合いで相互応援の絆をつくる、消費者応援隊の参加者拡大を図り、地産地消のすそ野を広げます。  (じゃがいもの植えつけ)	南丹広域振興局(農林商工部)
シイタケの原木栽培体験	小学生に対し、地域の山から切り出した原木を用いたシイタケ栽培の体験実習を実施します。自ら栽培したシイタケを食する体験を通して、食と健康、地域の自然・森林環境や広く生活環境についての認識を深めます。	南丹広域振興局(農林商工部)

② 食育を推進する人材の育成

取組事項	取組の内容	担当
管内栄養士ネットワーク推進事業	保健所は、地域での食育を推進するため、施設や地域で活動する栄養士に対し研修会や情報共有の場を提供することにより、栄養士間のネットワークづくりを行います。	各保健所 健康対策課

(3) 地域における食育の推進

取組事項	取組の内容	担当
食生活改善推進員活動の支援（リーダー研修会の実施） 再掲（1）ア ⑤	保健所は、食生活改善推進員のリーダー層に研修会を行い、食育に関する最新知識や事例共有などの機会を提供し、効果的な活動が展開されるよう支援します。	各保健所 健康対策課
特定給食施設等従事者講習会 再掲（1）ア ⑧	特定給食施設等従事者講習会の場を活用し、情報提供や施設間の交流の場を提供することで、連携した食育を推進します。	各保健所 健康対策課
きょうと食いく先生スキルアップ講座の開講と認定 再掲（1）ア ①	学校等において、専門的な知識を有し農作業や調理を指導できる人材を育成するため、養成講座を開講し、きょうと食いく先生の認定を行います。 目標：スキルアップ講座開催 1回 きょうと食いく先生の認定 100名	食の安心・安全推進課
地域の食育仕掛人の配置 再掲（1）ア ⑤	地域での食育の取組や食育実践者の輪を広げようとして取り組む人材を「地域の食育仕掛人」に認定。新たに食育に取り組もうという個人や団体をサポートするとともに、実践者同士の輪をつなげ、府内各地域の食育の取組を盛り上げます。 目標：地域の食育仕掛人認定数 20名	食の安心・安全推進課

③ 学校や福祉施設などの給食での地産地消の推進

取組事項	取組の内容	担当
特定給食施設等巡回指導・従事者講習会などによる地域の特色を活かした給食の提供を支援 再掲（1）ア ④	給食を実施している施設で、地域の特色や工夫を活かした給食の提供ができるよう、保健所による給食施設巡回指導時の個別相談により支援します。 ＜特定給食施設＞ 健康増進法第20条では、特定かつ多数の者に対して継続的に1回100食以上または1日250食以上の食事を提供する施設。 ただし、府ではそれ以下の食数の施設に対しても指導対象施設としている。	各保健所 健康対策課
「たんとおあがり京都府産」施設（京都府産農産物利用推進施設）の認定 再掲（1）ウ ②	地元農産物の利用に意欲的な病院・福祉施設、社員食堂、大学食堂を対象に認定章の交付を行い、意欲の向上を図ります。	食の安心・安全推進課
地場産物を取り入れた学校給食の促進 再掲（1）ア ④	学校給食への地場産物の活用とともに、郷土食、行事食など取り入れることによって、子どもたちに地元産物や和食の継承を含む食文化への理解を深め、郷土への関心を高めます。	保健体育課


④ 食生活改善推進員や生活研究グループ等が行う郷土料理・行事食の料理教室等の活動の推進

取組事項	取組の内容	担当
食生活改善推進員による親子料理教室等の取組支援 再掲(1)ア③	食生活を通じた健康づくりのボランティア団体である食生活改善推進員が、各地域でおやこ食育教室等に取り組むにあたり、取組の支援や技術向上のためのリーダー研修会を実施します。	各保健所 健康対策課
食育講座の開催 再掲(1)ア③	「きょうと食育ネットワーク」による料理教室等の食育講座の開催を支援します。	食の安心・安全推進課
食育に取り組む団体の食育支援活動の登録と情報提供 再掲(1)ア②	「きょうと食育ネットワーク」を通じて、府内で行われている食育支援の活動を登録し、ホームページ等で情報提供することで、食育に取り組むにあたって必要な情報を容易に取得できるようにします。 【食育支援の取組】 ○ボランティア活動 ○企業・工房等の見学 ○講師の派遣 ○教材等の提供 ○農林漁業体験プログラム 等	食の安心・安全推進課
京の食文化ミュージアム・あじわい館での食育体験教室の取組 再掲(1)ア①	京都市と連携して運営する施設「京の食文化ミュージアム・あじわい館」において、京都ならではの食材、行事等にまつわる食文化、健康を意識した体験型の食育教室等を開催します。	食の安心・安全推進課
女性農業者による食育活動と農山漁村伝承技能保持者による技術伝承活動	京都府内の生活研究グループが取り組む郷土料理講習や農業体験などの食育活動を支援します。 また、農山漁村伝承技能保持者が行う、農山漁村に伝わる技術伝承活動を支援します。	流通・ブランド戦略課

⑤ きょうと食育ネットワーク会員の連携による食育の推進

取組事項	取組の内容	担当
食育強化月間における関係団体と連携した啓発 再掲(1)イ⑦	「きょうと食育ネットワーク」が「朝ごはんを食べよう」を統一テーマとして定めている「きょうと食育強化月間(11月)」において、府内各団体と連携した啓発活動を行います。	食の安心・安全推進課
食育講座の開催 再掲(1)ア③	「きょうと食育ネットワーク」による料理教室等の食育講座の開催を支援します。	食の安心・安全推進課
京の食文化ミュージアム・あじわい館での食育体験教室の取組 再掲(1)ア①	京都市と連携して運営する施設「京の食文化ミュージアム・あじわい館」において、京都ならではの食材、行事等にまつわる食文化、健康を意識した体験型の食育教室等を開催します。	食の安心・安全推進課

⑥ 生産者と消費者との生産現場での意見交換等交流の促進

取組事項	取組の内容	担当
意見交換・シンポジウムの開催 再掲(1)イ⑥	食の安全に関する施策や取組について、消費者及び生産者等と各広域振興局ごとに意見交換を行うとともに、消費者及び生産事業者等と協働して食の安心・安全シンポジウムを開催し、食品の安全性に関する知識を啓発します。	食の安心・安全推進課
食の安心・安全学び塾の開催 再掲(1)イ⑥	府の食の安心・安全の取り組みについて、農林水産技術センター等の施設で体験し、意見交換することにより、府民の食の安心感向上につなげます。	食の安心・安全推進課
環境にやさしい農業に取り組むエコファーマーと消費者の交流会の開催	プラットフォーム「えこふぁーまーファンクラブ京都」との協働や府庁日本館こだわりマルシェで、環境にやさしい農業への理解を深めるためエコファーマーと消費者との交流会を開催します。 目標：3回以上	農産課
京都米提供店の登録	(一社)京都府米食推進協会が、京都米を使用しているホテル、料理店を京都米提供店として登録し、登録章の交付式において、消費者、生産者、流通に関わる団体が意見交換を行います。 目標：26年度中に130店舗の登録	農産課
都市漁村交流の促進	丹後の水産物に対する都市住民の理解を促進するため、丹後水産物のPRや漁業・漁村体験等の都市漁村交流事業を行う団体を支援します。	水産課
意見交換会の開催	「京のこだわり畜産物生産農場」や鳥インフルエンザ、口蹄疫等の家畜伝染病対策等の取組についての意見交換を行い、消費者に食品の安全性に関する正しい知識を啓発します。	南丹地域食の安心・安全プロジェクトチーム(南丹広域振興局農林商工部、企画総務部、南丹保健所、南丹家畜保健衛生所、南丹教育局)
消費者応援隊活動の実施(おいしい食の応援隊)	消費者が生産者と一緒に農作業に汗を流し、地域の食材を使用した昼食や農産物のお裾分けで交流するなか、農家と顔の見えるお付き合いから相互応援の絆をつくり、地産地消をすすめ農山村を元気にします。  (黒大豆の枝豆収穫)	南丹広域振興局(農林商工部)

⑦ 食の安心・安全についての関係機関と連携した情報提供

取組事項	取組の内容	担当
きょうと健康長寿推進府民会議	保健所におけるきょうと健康長寿推進府民会議を通じて、参画関係団体と連携し、府民へ生涯にわたる健康づくりに役立つ情報を提供します。 <きょうと健康長寿推進府民会議> 「新しい歴史に向かって走ろう府民運動」の一環として、総合的な府民の健康づくり指針「きょうと健やか21」に基づき、府民一人ひとりが健康で豊かな社会生活を営むため、自ら健康づくりに取り組むとともに、各関係団体が連携を図りながら、それぞれの特性を生かした事業の実施や支援を行い、府民の自主的な健康づくりの一層の推進を図る。	各保健所 健康対策課
京都の伝統食品や加工技術を紹介する講座等の開催	京都の長い歴史の中で培われた伝統食品の展示、加工技術の紹介を通じて、京の食やその大切さについて知ってもらう機会を提供します。 伝統食品等の展示・加工技術の紹介・体験学習教室 実施主体：一般社団法人京都府食品産業協会	染織・工芸課
意見交換・シンポジウムの開催 再掲(1)イ⑥	食の安心に関する施策や取組について、消費者及び生産者等と各広域振興局ごとに意見交換を行うとともに、消費者及び生産事業者等と協働して食の安心・安全シンポジウムを開催し、食品の安全性に関する知識を啓発します。	食の安心・安全推進課
食の安心・安全学び塾の開催 再掲(1)イ⑥	府の食の安心・安全の取り組みについて、農林水産技術センター等の施設で体験し、意見交換することにより、府民の食の安心感向上につなげます。	食の安心・安全推進課
京都府及び関係機関の「食」に関する情報の提供	ホームページ・メールマガジン等で「食」に関する情報を提供します。 <きょうと食育情報> http://www.pref.kyoto.jp/shokuiku/index.html <食の安心・安全きょうと> http://www.pref.kyoto.jp/shoku-anshin/index.html	食の安心・安全推進課
食の生産現場における安全対策を学ぶフィールドワークの実施	南丹広域振興局の各部局職員を対象に、臨場感を持った食の安全対策の共通認識を深めるためのフィールドワークを行います。	南丹地域食の安心・安全プロジェクトチーム(南丹広域振興局農林商工部、企画総務部、南丹保健所、南丹家畜保健衛生所、南丹教育局)
京都発!食とみどりのサイエンスNOW	府民皆さんに、農林水産技術の最新の研究成果をわかりやすく紹介し、開発された技術が府民生活の向上につながることを理解していただきます。 目標値：平成26年度 1回開催	農林水産技術センター企画室(流通・ブランド戦略課)
「海まるごと体験」の実施	様々な体験を通じて、京都府の海や魚、漁業への理解を促進する機会を提供します。 目標値：平成26年度 1回開催	海洋センター(流通・ブランド戦略課)

⑧ 社会福祉団体、商店街、流通事業者等と連携した調理実習体験や買い物弱者支援

取組事項	取組の内容	担当
高齢者等への買い物支援 再掲(1)エ①	商店街団体等が地域コミュニティの核となるような特色づくりに取り組む事業を支援する中で、地域の生活支援商店街など、高齢者等の買い物弱者の買い物の利便を高め、生活の質の向上を図るとともに商店街の振興につながる事業を支援します。	商業・経営支援課

⑨ 優良事例の紹介及び取組の拡大

取組事項	取組の内容	担当
食育シンポジウムの開催	京都ならではの食育を推進するために、企業等と協働して、府内の食育実践者、教育関係者や府民などが集まる食育シンポジウムを開催します。 ○8月2日(土) 京都リサーチパーク	食の安心・安全推進課
きょうと食育講演会の開催	府内外から講師を招き、食育講演会を開催し、府内の食育実践者や府民に先進的な食育の取組についての知識や理解を広め、府内の新たな食育の取組の実践を促します。	食の安心・安全推進課
「きょうと食育事例集」の作成	「きょうと食育ネットワーク」を通じて、地域・団体等による食育の取組について調査を行い、優良なモデル事例を掲載した冊子を作成するとともに、きょうと食育ネットワーク会員等にモデル事例を紹介する等、府内全域への普及・拡大を図ります。	食の安心・安全推進課
市町村食育推進計画の策定支援	食育先進市町村の担当者を招いての研修・懇談会の開催や、市町村の事情に応じた助言等を行い、市町村食育推進計画の策定を支援します。 目標：計画策定市町村数 20/26市町村	食の安心・安全推進課
食育プラットフォーム(仮称)の設置	食育が府民運動として取り組まれるための体制を整えるため、府内で食育に取り組む個人や団体が参加可能な食育プラットフォーム(仮称)を設置します。 プラットフォームにおいては、府内外における食育の先進的な取組情報やそのノウハウの共有を行うとともに、食育に取り組む仲間や協力者を得るなど、食育に関して有益な情報交換や交流を行うための場として位置づけます。	食の安心・安全推進課
地域の食育仕掛人の配置 再掲(1)ア⑤	地域での食育の取組や食育実践者の輪を広げようと取り組む人材を「地域の食育仕掛人」に認定。新たに食育に取り組もうという個人や団体をサポートするとともに、実践者同士の輪をつなげ、府内各地域の食育の取組を盛り上げます。 目標：地域の食育仕掛人認定数 20名	食の安心・安全推進課
食育のたね交付金の助成	地域の食育仕掛人が伴走支援を行い、取り組まれる新たな食育の取組について、経費の一部を助成し、府内の各地域における食育の取組増加を促します。 目標：食育のたね交付金交付団体 20団体	食の安心・安全推進課

取組事項	取組の内容	担当
管内市町が策定する食育推進計画の策定支援	管内市町の食育推進計画の策定や進行管理を含む食育推進に関する支援を行います。 (目標値：乙訓管内市町食育推進担当者会議の開催)	乙訓保健所 乙訓教育局 京都乙訓農業改良普及センター
山城の食育の取組情報を発信	山城の食育の取組事例等をホームページで紹介し、府民に食育の推進を図ります。	山城広域振興局農林商工部
管内市町の食育・地産地消の取組紹介パネルの作成・展示	10/19～11/19を、京都丹波「食」と「農」が結ぶ健康月間として設定し、食に関する市町イベントに、食育・地産地消啓発パネルを展示する食育コーナーを併設して府民への啓発に取り組みます。	南丹広域振興局(農林商工部)

3 数値目標

事項	当初 (21年度)	25年度 達成状況	26年度 目標	達成目標 (平成27年度)	説明
1 学校給食への地元農産物の供給品目数の割合	22.7%	17.1% (乳類除く 17.2%)	23.4% (乳類除く 23.5%)	30%以上	学校給食に地元農産物を使用し、食に関する指導の「生きた教材」として活用することは、地域の農業や食文化への理解を深めるとともに、生産者の努力や、食に関する感謝の念を育む上で重要であるほか、地産地消にもつながるものです。このことから、学校給食への地元農産物の供給品目数の割合を30%以上とすることを目指します。 (京都府農林水産部食の安心・安全推進課、教育庁保健体育課調べ)
2 保護者を含めた参加型食育を実施している保育所数の割合	90.7%	100%	100%	100%	乳幼児は自らにおいて食を確保することが困難であることから、保護者等の食を提供する者への食育が重要である。このことから、保育所等の給食施設支援を通じて保護者を含めた参加型食育を実施している保育所の割合を100%にすることを目指します。 (京都府健康福祉部健康対策課調べ)
3 むし歯のない府内小学生の割合	38.9%	46.1%	46.1%	43.9%以上	生涯にわたり、健康で豊かな生活を過ごすためには、十分な口腔機能の発達・維持が必要です。食生活を含め生活習慣とむし歯・歯周病の発生は極めて関係が深いことから、むし歯のない小・中学生の割合の増加を目指します。 (京都府教育庁保健体育課調べ)
むし歯のない府内中学生の割合	51.3%	60.3%	60.3%	56.3%以上	
4 食育に関心を持っている府民の割合	84.0%	90.0%	90%以上	90%以上	食育を府民運動として推進し、その成果を上げるためには、府民一人ひとりが自ら食育の実践を心掛けることが必要ですが、これにはまずより多くの府民に食育への関心を持ってもらうことが欠かせません。このことから、食育に関心を持っている府民の割合(食育に関心がある又はどちらかといえば関心がある)を、90%以上とすることを目指します。 (京都府農林水産部食の安心・安全推進課調べ)
5 朝食を毎日食べる府内小学生の割合	87.5%	87.3%	92.0%	95%以上	子どもの食生活の乱れが様々な場面で指摘されており、成長段階からの食の問題は、子どもの将来にわたる心身の健康に大きな影響を及ぼすことが懸念されています。健康的な生活リズムや生活習慣を確立するため、1日の始まりである朝食を毎日食べる子どもの割合の増加を目指します。 (文部科学省「全国学力・学習状況調査」)
朝食を毎日食べる府内中学生の割合	78.1%	82.1%	87.0%	90%以上	
6 食農体験農場の数	0箇所	10箇所	20箇所	20箇所以上	命と食の大切さを理解するためには、知識だけではなく、農作業や調理などの体験が効果的です。未来を担う子どもをはじめ府民が、五感をいきいきと発揮させ、種まきから施肥・除草、収穫、加工・調理まで一連の体験ができる機会を増やすため、「食農体験農場」の増加を目指します。 (京都府農林水産部食の安心・安全推進課調べ)
7 「きょうと食いく先生」の数	0人	83人	100人以上	100人以上	学校や地域において田植えや収穫体験等が農業者を講師として実施されていますが、農作業や調理体験を体系的に指導できる人材が少なく、一部の農家に集中しています。学校の農作業体験の充実要望や府民の食農体験のニーズに対応できるよう、農業者等を体系的に指導できる農業者を「きょうと食いく先生」として養成し、その増加を目指します。 (京都府農林水産部食の安心・安全推進課調べ)
8 食育の推進に関わるボランティアの数	4,500人	4,801人	4,900人	5,000人以上	食育を府民運動として推進し、府民一人ひとりの食生活において実践してもらうためには、食生活の改善等のために府民の生活に密着した活動に携わるボランティアが果たしている役割が重要です。このことから、食育の推進に関わるボランティアの数の増加を目指します。 (京都府農林水産部食の安心・安全推進課調べ)
9 食情報提供店の店舗数	460店	555店	600店	800店以上	生活スタイルの変化等から、外食への依存度が高まりつつあり、こうした状況に対応して府民の健康づくりを進めるためには、家庭内の食事だけでなく、外食・中食も含めた生活支援が必要です。このことから、飲食店等が提供メニュー等に健康や栄養に関する情報の提供を行う「食情報提供店」が800店以上となることを目指します。 (京都府健康福祉部健康対策課調べ)
10 食育推進計画作成市町村の数	23% [6市町]	65% [17市町]	85% [22市町村]	100% [26市町村]	食育を府民運動として推進していくには、府全域においてその取組が進められることが必要です。食育基本法では、市町村に推進計画を作成するよう努めることが求められており、各市町村において計画を作成し、その地域の特色を生かした食育が推進されることが重要です。このことから、推進計画を作成・実施している市町村の割合を100%にすることを目指します。 (京都府農林水産部食の安心・安全推進課調べ)